テンサイ褐斑病抵抗性極強品種の省力防除法

概　要 Abstract

テンサイ褐斑病抵抗性極強品種では、褐斑病の防除期間を短縮して、省力的に防除できることを明らかにしました。

図1．テンサイ褐斑病（左:斑点、右:葉の枯死）

成　果 Results

【抵抗性極強品種の褐斑病発生の特徴】
●抵抗性強の品種と比較して、初発日（病気が発生する時期）が遅く、**初発後の発病の進展が緩慢**。

【抵抗性極強品種の褐斑病の防除期間】
●**開始時期：発病株率が50%に達する前**
●**終了時期：8月下旬**

【抵抗性極強品種の褐斑病に対する**防除期間短縮**の効果】（図2、図3）
（「極強・短縮」(図2■)：発病株率が50%に達する前に開始し、8月下旬まで継続。）
●標準的に防除した抵抗性強の品種（「強・標準」(図2左×)）よりも発病を低く抑えました（図2左）。
●初発前後から防除を開始し、9月上中旬まで継続した極強品種（「極強・対照」(図2左○)）よりも防除効果は劣る傾向（図2左）でしたが、収量は同程度でした（図2右）。

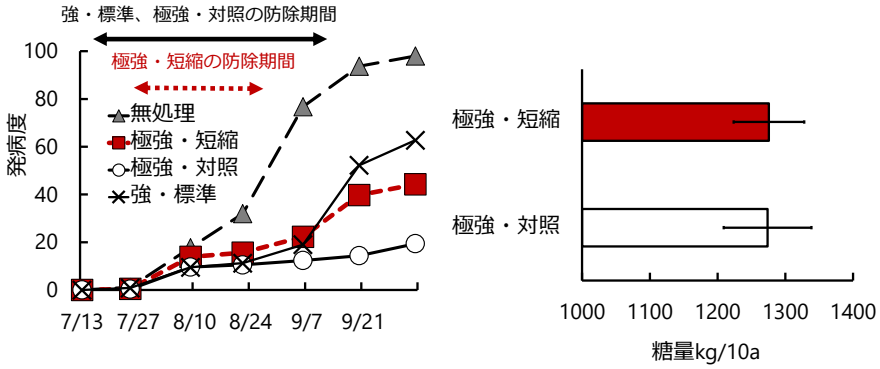

図２．防除期間短縮の効果（左:発病度の推移、右:10aあたり糖量）
右図バーは標準偏差。

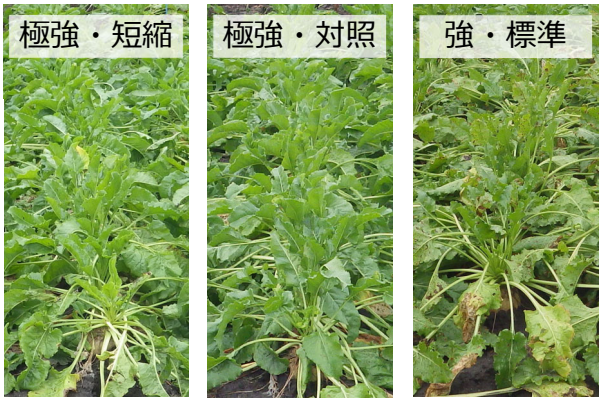

図3．収穫時の状況（図2の試験）

普　及 Dissemination

●発病株率が50%に達する前に防除を開始するには、初発日が7/5以前の場合は7/20、7/6以降の場合は初発日の15日後が防除開始の目安です。
●褐斑病の防除期間を短縮し、省力防除できる品種は「カーベ8K839K」並の褐斑病抵抗性を有する品種です。
●省力防除に使用できる殺菌剤は、マンゼブ水和剤（400倍液14日間隔散布）か、それと同等の防除効果を有する殺菌剤です。

連絡先 Contact

十勝農業試験場
研究部 生産技術グループ
０１５５－６２－２４３１
tokachi-agri@hro.or.jp